

事務事業名		財団法人大船渡市体育協会運営事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	0:6: 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間			
	施策名	2:9: 生涯スポーツの振興						
	基本事業名	0:2: スポーツ・レクリエーション団体の育成支援			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 不詳 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入			
根拠法令								
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課			予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 06 01 12			
	係名	体育振興係	電話	27-3111				
			内線	275				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・財団法人大船渡市体育協会は、昭和37年の設立で、市の体育・スポーツ活動の普及・指導団体として市の生涯教育活動に貢献している。業務内容は、県民体育大会への選手派遣、各競技団体への支援、スポーツ功労者・栄光賞等の表彰を行っている。また、平成18年度からは、指定管理者として市の体育施設の管理、運営も行っている。 ・事業費は、市体育協会運営事業への補助金(指定管理料は含まない)である。					全体計画(期間限定複数年度のみ)			
					総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
						財源内訳	都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
						事業費計(A)	0	
					人件費	正規職員従事人数		
						延べ業務時間		
						人件費計(B)	0	
						トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 各競技団体の育成・支援や施設の貸し出し、施設の維持・管理運営、各競技団体への支援、スポーツ功労者・栄光賞の表彰等 県民体育大会への参加 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 市民体育大会参加者人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 県民体育大会参加者人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 市民体育大会参加者人数	人	イ 県民体育大会参加者人数	人	ウ	
	名称	単位							
	ア 市民体育大会参加者人数	人							
	イ 県民体育大会参加者人数	人							
ウ									
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民 体育協会加盟の各単位協会 大船渡市体育協会	対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 体育協会に加盟する単位協会数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>ク スポーツ少年団数</td> <td>団体</td> </tr> </table>	名称	単位	カ 人口	人	キ 体育協会に加盟する単位協会数	団体	ク スポーツ少年団数	団体
	名称	単位							
	カ 人口	人							
キ 体育協会に加盟する単位協会数	団体								
ク スポーツ少年団数	団体								
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) スポーツ・レクリエーション活動に参加しやすい環境となる。 活動が活発化される。 運営の財政的な保障となる。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ スポーツ団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>シ スポーツ団体登録者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ スポーツ団体数	団体	シ スポーツ団体登録者数	人	ス	
	名称	単位							
	サ スポーツ団体数	団体							
シ スポーツ団体登録者数	人								
ス									
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) スポーツ団体(人材)が育成されている。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)		
			単位								
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円	2,500	2,000	2,000	1,555	2,000	2,000	
			一般財源	千円	10,000	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500	
			事業費計(A)	千円	12,500	11,500	11,500	11,055	11,500	11,500	
	人件費			正規職員従事人数	人	6	2	2	2	2	
				延べ業務時間	時間	3,840	1,280	1,280	1,280	1,280	1,280
				人件費計(B)	千円	15,360	5,120	5,120	5,120	5,120	5,120
				トータルコスト(A)+(B)	千円	27,860	16,620	16,620	16,175	16,620	16,620
活動指標			ア	人	2447	2444	2414	2550	2600	2650	
			イ	人	559	485	477	600	600	600	
			ウ								
対象指標			カ	人	43209	42575	42158	41684	-	42000	
			キ	団体	25	25	26	26	27	28	
			ク	団体	56	61	62	63	63	64	
成果指標			サ	団体	81	86	88	89	90	90	
			シ	人	3885	3866	3890	3842	3570	3600	
			ス								

事務事業ID	1019	事務事業名	財団法人大船渡市体育協会運営事業
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和37年の設立以来、体育行政の円滑な推進のために、自主的な運営をはかるための財政支援のために実施されてきた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・発足当初は、野球協会、柔道協会等6協会、現在は25協会・61スポーツ少年団を擁する財団法人大船渡市体育協会に発展強化された。 ・平成18年度より市の体育施設等の指定管理業務を受託し、その運営を行うこととなった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市体育協会理事会などで、体育施設等の指定管理を受託したことを経緯に、市体育協会独自の事業等を行いつつ、加盟各単位協会の協力を仰ぎながら力のある組織にしなければならないとの意見が出されている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] 市民へのスポーツ振興・普及をはかるため、指導者や実践者の団体である市体育協会の育成・支援は重要である。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 市体育協会が財政的に自立できないこと、スポーツ振興法の施策の方針に基づいて、スポーツをすることができるような諸条件の整備に努めなければならないから。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] 市体育協会は、各単位協会を束ねる市内で唯一のスポーツの普及活動を行うことのできる団体であり、この団体が育成されることによって市民のスポーツ活動が活発となることが期待される。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ニュースポーツなど新しい種目を行なう団体の育成などを通して、スポーツに親しむ市民を増加させることができる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 財団法人大船渡市体育協会の存続が危ぶまれ、それに伴い市のスポーツ振興が停滞する恐れがある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] スポーツ振興を目的にする唯一の団体である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 県民体育大会など各種大会参加を保障する旅費等が経費の中で大きな部分を占め、事業費を削減すると各種大会への参加が抑制される。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 平成18年度から市体育協会が体育施設等の指定管理を受託したことに伴い、体育振興課が廃止され、生涯学習課体育振興係に移行され削減された。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 県民体育大会参加費や各種大会等の個人負担もあり、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">目的妥当性</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="width:20%;">適切</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="width:20%;">見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/>	適切	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 体育施設等の指定管理業務のほか、スポーツ少年団指導者講習会など独自の事業を行い、スポーツの振興に取り組んだ。</p>	
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
有効性	<input type="checkbox"/>	適切	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
効率性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) ニュースポーツの普及を図る。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input checked="" type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input checked="" type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">目的妥当性</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="width:20%;">適切</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="width:20%;">見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務事業執行がなされている。</p>	
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
有効性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
効率性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事務事業を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項	
---------------------	--